

会 議 録

| | |
|---------------|---|
| 会議の名称 | 戸田市都市再生協議会（第2回） |
| 開催日時 | 令和8年1月21日（水）午後7時00分 ～ 午後8時30分 |
| 開催場所 | 戸田市役所 5階 大会議室B |
| 出席者氏名 （委員） | 岡田 智秀（会長）、荒井 歩（副会長）、溝上 西二、藤田 安志、 入船 優太、畠 繁明、宮下 覚、矢内 祐一、沼田 篤彦、熊木 智洋、 渡辺 大助、長谷川 昌之、岡安 敦志、内藤 祐一 |
| 欠席者氏名 （委員） | 細谷 功一、船津 宗和、高屋 勝利 |
| 事務局 | 【戸田市 都市整備部 都市計画課】 今泉課長、久保副主幹、高木主事、泉主事補 【戸田市 都市整備部 まちづくり区画整理室】 重松課長、上田主幹、鈴木主事 【株式会社 千代田コンサルタント】 川上、松元、小柏 |
| 内 容 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 社会実験実施結果について ・ 北戸田駅周辺ウォーカブル歩道整備イメージについて ・ 令和8年戸田市都市再生整備計画（案）（来年度以降の事業） について |
| 会議結果 | 別紙「会議の経過」のとおり |
| 会議の経過 | 別紙「会議の経過」のとおり |
| 会議資料 | <p>【資料1】 : 戸田市ウォーカブル推進業務社会実験実施報告</p> <p>【参考資料】 : 戸田市ウォーカブル推進業務社会実験実施報告 (参考資料)</p> <p>【資料2】 : 北戸田駅周辺ウォーカブル歩道整備イメージについて</p> |

| | |
|-------|--|
| | 【資料3】令和8年度戸田市都市再生整備計画（案）（来年度以降の事業） について |
| 議事録確定 | 令和8年2月12日 都市再生協議会 会長 岡田 智秀 |

(会議の経過)

| 発言者 | 議題・発言内容・決定事項 |
|-----|---|
| 事務局 | <p><u>1. 開会</u></p> <p>(開会挨拶)</p> <p>(資料及び議題の確認)</p> <p>(事務局から会長へ進行を交代)</p> |
| 会長 | <p><u>2. 報告</u></p> <p><u>(1) 社会実験実施結果について</u></p> <p>「社会実験実施結果」について、事務局より説明いただく。</p> |
| 事務局 | <p>(資料1に基づき、事務局より説明)</p> |
| 会長 | <p>社会実験当日は雨になってしまったが、芦原会館を開放いただき、運営スタッフの休憩スペースとして使わせていただいた。町会長また町会の皆様にお礼を申し上げる。また、地元企業であるタカショーにも植栽やストリートファニチャー類の貸出等にご協力いただいたことも心強かった。官民連携の姿が形になったと感じている。</p> |
| 委員 | <p>今回の実験で、キッチンカー設置とストリートファニチャー設置が重なった日が10月7日(火)であった。2つのコンテンツが重なったことによりキッチンカーの売り上げが伸びた、または滞在人数が増えた等の相互の関連性や相乗効果はあったか。</p> |
| 事務局 | <p>ファニチャーとキッチンカーの相乗効果について、参考資料にAIカメラで滞在性を分析・集計した結果を記載している。参考資料54ページをご覧いただきたい。10月7日(火)は16時から20時の時間帯にキッチンカーを出店していたところ、東口の当日の18時台は滞在者数が11名であり、その日で最も多い滞在者数になっている。西口も同様に18時台に最も滞在者数が多かったため、キッチンカー出店によってベンチ利用者が増えたこと</p> |

| 発言者 | 議題・発言内容・決定事項 |
|-----|---|
| 委員 | <p>が推察できる。ファニチャーを設置していなかった2日間、55ページの10月18日(土)、56ページの10月27日(月)は、10月7日(火)に比べ18時の時間帯は滞在者数が少なかった。</p> <p>そのため、10月7日(火)の18時の時間帯はキッチンカーによってベンチ滞在者が増えていると考えられる。</p> <p>当日、職員による現地確認においても、10月7日(火)のキッチンカー利用者は傍にベンチがあるとそこに座って食事する光景が見受けられ、ベンチとキッチンカーによる集客性の相乗効果があると考えている。</p> <p>色々な要素が重なることで盛り上がり生まれるので、歩道整備後も継続してイベント等を実施していくことが出来れば良いと考え、発言させていただいた次第である。</p> |
| 会長 | <p>10月4日(土)のイベントは、笹目川秋フェスタと同時開催であった。併催による相乗効果を期待できる部分があったが、両イベントに参加していた委員に感想を伺いたい。</p> |
| 委員 | <p>来場者・運営者・協力者を対象としたアンケートの調査では、比較的ポジティブな意見が多い傾向になると思う。町会の回覧版にQRコードを記載するなど、イベント実施を把握しながら来場しない方々に対してもアンケートを行ったほうが良いのではないかと考える。参加した方とは違う視点で社会実験を見ている方も少なからずいると考える。北戸田周辺に住む人口を考えると、イベントに参加しなかった人数の方が参加者より多い。市の予算を使った事業という側面もあるので、参加しなかった市民の意見も拾った方が良かったのではと感じた。アンケート以外で伺っている意見と、アンケート結果の意見には若干の乖離があると感じたので、今後に活かしていただきたい。</p> <p>また、開催経費が同規模のイベントと比較し、内容が少し薄かった印象がある。支出では備品購入費、資材購入費、駐車場レンタル費の比率が大きい。</p> |

| 発言者 | 議題・発言内容・決定事項 |
|-----|---|
| | <p>公的機関が関わるイベントではステークホルダーが存在することが多い。ステークホルダーが存在するのは止むを得ないが、比率が大きいこの3項目は検証結果として大まかに計上せず、ステークホルダーと資金の動きをある程度明確に示していただければ、今後の効率的な活用法を考えられる。イベントではステークホルダーが地域貢献しながらも、ある程度利益を確保していくという姿勢を感じる場合があるため、若干その金額が大きかったのではという感覚がある。イベントの内容や今後につながっていくものは一つの成果として素晴らしいと思うが、今後イベントを継続・改善していくために検討する余地はある。</p> <p>なお、笹目川秋フェスタの来場者数は分かるか。</p> |
| 委員 | <p>凡そであるが、約1,600人であった。</p> |
| 委員 | <p>1,600人という規模の笹目川秋フェスタの来場者から今回の社会実験イベントに流れた人数はかなり少ないと思う。同日開催には非常に大きな可能性があるが、今回は準備を含めて両イベントの連携が弱かった。別々のイベントなので難しさはあるが、もう少し早く連携できれば、同日開催の意味は増すと感じた。例えば2号公園は何もない場所だからこそ、土日には市民が活用方法を自分で考えて集まっている。2号公園と笹目川プロムナードを繋いだ回遊性などを考えられると良いと感じた。</p> <p>また、西側は歩行者用通路となったので、公園側にキッチンカーを寄せて2号公園側からの利用を検証するなど、3拠点の配置を意識するとより良いイベントになるのではないか。このイベントを継続していくのかというのは別の問題だが、今回初めての経験の中で以上のように感じた。</p> <p>笹目川秋フェスタは継続開催で年々人が集まってきている。1,600人という規模は北戸田の非常に大きな魅力になっていく。出展者に地域の方々が多いことが特徴である。今後、地域の回遊を考えると、戸田市内でも課の枠を超えて連携していただければと思う。</p> |

| 発言者 | 議題・発言内容・決定事項 |
|-----|--|
| 会長 | <p>今回のイベントは準備段階から限られたマンパワーで、限界のところまで準備を進めていた印象があるが、事務局から何か意見はあるか。</p> |
| 事務局 | <p>昨年度は笹目川プロムナードでの社会実験であったが、今回は高架脇道路の新しい場所において、新たな地域の協力者や事業者と共に企画した社会実験であった。整備に向けた歩道の使い方の検証はある程度できたが、地域の方々をもっと参加しやすい企画、さらには広報計画などについて、今後も改善を図っていきたいと考えている。笹目川秋フェスタとの連携はウォーカブル事業の展開において重要になるので、笹目川秋フェスタを運営する笹目川とことん活用連絡会とも更なる連携を図って公共空間の活用を進めたい。</p> <p>また、周辺地域の方々で当日イベントに来場しなかった方々へのアンケート実施については、非常に参考になるご意見なので、今後の取組に活かしていく。</p> <p>経費については、歩道整備の中でファニチャーを設置することで、今後のイベント経費の削減につながるよう取り組んでいく。なお、今回は新たな歩道づくりのためのモニュメント製作やベンチ製作に経費を要した。費用内訳の詳細があるので、今後、まちづくりラボにも共有していきたい。</p> <p>2号公園は、令和9年から10年にかけて設計・整備を行う予定であり、交流広場は来年度の完成を予定している。今回社会実験を行った高架脇道路は、ウォーカブル空間の2大拠点を結ぶ重要な経路でもあることから、移動しやすい動線・人流を作れるよう、来年度以降も検討を続けていく。</p> |
| 会長 | <p>笹目川秋フェスタの知名度は圧倒的で、雨天でも多くの方が来られていた。今回は、天候がかなり足かせになったのではないか。雨が降ると人がいなくなることもあった。晴れていれば社会実験の会場へ人が来ることも期待できた。委員からのご指摘の通り、ソフトな仕掛けで回遊を促す展開を次年度のワークショップで議論できればと思う。今後、交流広場が完成することで、人の移動がかなり促されるのではないか。今回は将来ビジョン策定後の初めての取組であったこと、ハード整備が進行中であったことから、立地的な不</p> |

| 発言者 | 議題・発言内容・決定事項 |
|-----|---|
| 会長 | <p>利がある中でのチャレンジであった。継続は力なりとして、同様の取組を継続していきたいと思う。笹目川秋フェスタとの併催で相互に来場者を融通できる仕組みをうまく成立させていければと考える。</p> <p><u>(3) 北戸田駅周辺ウォークアブル歩道整備イメージについて</u></p> <p>続いて、「報告 北戸田駅周辺ウォークアブル歩道整備イメージについて」に移る。</p> <p>資料2「北戸田駅周辺ウォークアブル歩道整備イメージについて」を、事務局より説明いただく。</p> <p>(資料2に基づき、事務局より説明)</p> |
| 委員 | <p>歩道より先に完成する交流広場では、当初はキッチンカーを配置して賑わいを創出するという話であった。イメージパスでは東側と西側の通路にキッチンカーが描かれているが、今後は交流広場と駅東西の両方で出店出来る環境とするのか、或いは駅東西の出店のみになったのか。また、東側のイメージパスではキッチンカーが2台描かれており、平面図では東側のローソンの隣にキッチンカースペースがある。まだ正式な整備イメージではないと思うが、正確な配置を教えてほしい。</p> |
| 事務局 | <p>配置台数は整理中だが、交流広場にも駅寄りの歩道にもそれぞれキッチンカーが出店できるイメージになる。整備後の活用法として、ほこみち制度を使ったイベントやキッチンカー出店等、これまで通り検討している。</p> |
| 委員 | <p>パラソルを設置する話があったが、誰が設置するのか、また保管場所についても考えていただきたい。</p> |
| 事務局 | <p>今後の運用でパラソルを常設できるのか、あるいはイベント実施時のみ設</p> |

| 発言者 | 議題・発言内容・決定事項 |
|-----|--|
| 委員 | <p>置可能か、その際の保管方法や維持管理など、引き続き検討を進めていきたい。</p> <p>計画平面図では西側にベンチが6基設置されている。東側は北向きなので線路が日差しを遮るが、西側は南向きのため夏場はベンチに座れる状態にならないと思うが、ウォークアブルな空間を形成するには夏場に滞留できることも大事である。直射日光でベンチの部材が痛むことも想定されるので、日除けなどの暑さ対策も検討項目の一つとしていただきたい。</p> |
| 事務局 | <p>参考として、検討を進めたい。</p> |
| 会長 | <p>気温が上昇している中、最近ではミストの需要も高まっている。暑さ対策は重要な要素であるため、検討いただきたい。</p> |
| 委員 | <p>JRの敷地と一体的に整備を行うとの説明があった。JRの敷地部分は、新幹線や埼京線との緩衝地帯で、環境空間と呼ばれる場所になっている。図面で黄緑色になっている部分は、市がJRから無償で貸与を受けて緑地として管理している場所である。今回の整備でベンチや照明を設置していくことになるが、JR敷地内に新たな施設を設置することになるため、JRとの協議によって整備内容を変更する可能性があることは皆様にご承知おきいただきたい。</p> <p>ベンチ設置に関連して、参考資料14ページのファニチャーのある空間の満足度に関するアンケート意見で「酒やたばこを吸いモラルのない人が占領する」可能性を危惧する意見がある。このエリアは元々路上喫煙禁止エリアになっていることや、今年度、公園を禁煙にする実証実験を行っており、市内の公園については今後禁煙にしていきたいと考えている。良いものを作ってもそこでお酒やたばこを吸われると、本来の使い方では無くなってしまう。今後のファニチャー等の管理をしっかりと行っていくことをお願いしたい。</p> |
| 会長 | <p>今回の高架脇道路整備に関するスケジュール感を教えていただきたい。</p> |

| 発言者 | 議題・発言内容・決定事項 |
|-----|---|
| 事務局 | <p>予算の都合もあるため、まずは西側から先行して整備を予定している。令和8年度に工事が出来るように予算化の調整を行っている。東側は令和9年度に段階的に整備していきたい。</p> |
| 会長 | <p>地域の拠り所になる緑地帯にするために、地域から緑地帯に関する意見を吸い上げて、デザインだけでなく地域にとって使い勝手のいい緑地帯を検討いただきたい。例えば以前、北部橋の歩道周辺の植栽帯に自分たちで花を植えたいという質問もあった。町会の方が花を植えて守り育てるアクションが生まれるかもしれない。先ほどのアンケート結果からもキッチンカーを設置しても高木が視線を遮る等の問題があるので、利用者側の意見からデザインを逆算するアプローチが重要ではないか。地域の声を出来るだけ拾い上げた方が良いと思うが、タイムスケジュールとして、それらのプロセスを踏む余地はありそうか。アンケート調査では一方的になってしまい、地域との意見交換とは言えないのではないかと思う。将来ビジョンの検討の際、地域の方達の意見を事業の取り組みに繋げていくことの必要性が背景にあったことを踏まえ、ワークショップ形式などで地域の方のポテンシャルを引き出す取り組みを入れられないか。</p> |
| 事務局 | <p>社会実験の結果を東西通して出来るだけ設計に反映したいと考える一方で、西側は令和8年度に向けて実施設計・積算を固めていく必要がある。全く対応不可ではないが、スケジュールを鑑みると厳しくなっている。東側は詳細設計まで1年の猶予があり、検討の余地はあると考える。</p> |
| 会長 | <p>西側は今回の整備イメージで決定となるのか。</p> |
| 事務局 | <p>あくまでまだイメージの段階である。JR敷地側の詳細も今後詰めていく必要があるため、細かい設えも調整する箇所があるため、変更の余地はある。</p> |

| 発言者 | 議題・発言内容・決定事項 |
|-----|--|
| 会長 | <p>東西で整備スケジュールを分けたので、ワークショップ形式で実施できる余地があれば、できるだけ地域の方に参加いただくことが望ましい。スケジュール的にワークショップ開催が難しければ、せめて地域に関連が深い方々にヒアリングをしたほうが良いのではないかと。委員にヒアリング先等をアドバイスしてもらい、地域の声を整備に反映するのはまちづくりの基本中の基本かと思う。可能であれば配慮いただきたい。</p> |
| 事務局 | <p>西側に関しても、できる範囲で意見を反映できるようにしていきたい。</p> |
| 副会長 | <p>今まで事業を積み重ねてきたので、ワークショップ等が出た意見は設計に反映したほうが良い。地域の方で植栽したいなどの意向がある場合、植栽管理は継続が必要なので、現在のラボに携わる方々の中で組織を作れるなら、その方向で動いたほうが良い。そうでない場合は、市で把握している植栽管理をしている方々の情報を共有するなど、今後どのように進めていくかを考えると良い。</p> <p>夏の暑さへの対応は難しい点があるため、その他の季節に比重をおいて植栽を検討することも考えられる。また、会長からお話があったミストの設置や日陰の設置など、普段利用されている方の方が現地の状況をよくご理解されていると思う。そういった方々の意見を含めて設計調整を進めていただきたい。</p> |
| 会長 | <p>地域不在にならないという点が肝心である。地域の意向は反映するようにしてほしい。意向の実現可否は、本協議会や識者内での判断になるかと思う。地域の主体性をうまく引き出す形で検討していただきたい。</p> <p><u>3. 議題</u></p> <p><u>(1) 令和8年度戸田市都市再生整備計画(案)(来年度以降の事業)につ</u></p> |

| 発言者 | 議題・発言内容・決定事項 |
|-----|---|
| 会長 | <p>いて</p> <p>それでは、「令和8年度戸田市都市再生整備計画（案）（来年度以降の事業）」について、事務局より説明いただく。</p> <p>（資料3に基づき、事務局より説明）</p> |
| 会長 | <p>先ほどから意見があるように、地域の方が不在では公共空間の意義が無くなってしまいますので、地域の声を空間に反映するプロセスを踏んでいただきたい。副会長からもお話があった、花を育てる組織体が育っていくような、地域の方々が参加できるポテンシャルを確認する、あるいは引き出す取り組みが疎かにならないように取り組んでいただきたい。本条件を付す形で、「令和8年度戸田市都市再生整備計画（案）（来年度以降の事業）について」に対して、本都市再生協議会としては承認することで異議ないか。</p> <p>（出席の全委員からの異議なしをもって、本協議会として「令和8年度戸田市都市再生整備計画（案）（来年度以降の事業）について」を承認。）</p> |
| 会長 | <p>全体を通して何か質問やご意見はあるか。</p> |
| 委員 | <p>越谷駅東口のように、デジタルサイネージやチラシの掲示ができる掲示板などがあれば、駅前で社会実験や市の事業について効果的な案内ができるなど選択肢が広がるのではないか。</p> <p>越谷市では実際にイベントなどに関する掲示を行っている。また、東口には大きいデジタルサイネージがあるほか、掲示板ではなくショールームのように掲示ができるものもある。参考にいただければと思う。</p> <p>つくばエクスプレスの八潮駅には幕屋根があり、雨に濡れないスペースが設けられている。今回のイベントも、雨が降って参加者が減るということがあった。雨の中、傘を差して立ち止まる方がどのくらいいるか、難しいとこ</p> |

| 発言者 | 議題・発言内容・決定事項 |
|-----|--|
| 事務局 | <p>ろがある。緑豊かな空間と競合する部分もあるが、どのような形で整備するか、選択肢の一つとして提示させていただきたい。</p> <p>戸田市内の駅前広場は良好な景観づくりを行う場所として、屋外広告物の禁止地域に指定している。そのため、一般広告は掲示できないが、公共の目的や社会実験などのイベントに関する告知はデジタルサイネージを含め利用可能と考える。設置する場合はハード面の検討を行う必要があるが、今後、地域の方々の声を聴きながら検討していきたい。</p> <p>雨除けは今回も多数ご意見を頂いている。雨除けや日よけは、風や時間帯によって影響の出る向きが変わるため、現時点では、ある程度の規模でないと効果を得るのは難しいと判断して常設は予定していない。今後、非常設や製品によっては後付けなど、地域の声や使い勝手を考慮して機能の拡充も検討していきたい。</p> |
| 事務局 | <p><u>・今後のスケジュールについて報告</u></p> |
| 会長 | <p>最後に、本日提示された整備イメージは基本のラインであると考えている。ファニチャーや緑地含めてデザイン洗練に向けた意見交換が必要と感じた。私も含め、副会長にも助言をお願いし、地域の方々の意向をお伺いしたい。今後も空間づくりのワークショップを働き掛けていきたいと考える。</p> <p><u>(会長から事務局へ進行を交代)</u></p> |
| 事務局 | <p><u>4. 閉会</u></p> <p>閉会挨拶</p> <p style="text-align: right;">以上</p> |